

令和2年度 磐田市立磐田西小学校 学校評価書

(児童の評価90%以上をA)

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
学びづくり	<p>○ 聴き合い・学び合う子どもを育てる。</p> <p>○ 自分のために、自分のために学び、課題を一心に追究する子どもを育てる。</p>	学校生活が、楽しいか。	A	<p>○「聴き合い、学び合う」ことができる児童を育てるという目標に対し、①「授業の内容が分かる」、②「先生は分かりやすく教えてくれているか」という項目がA評価になっている。子どもたちが主体的に学習に取り組み、学び合って授業を受けていることが分かる。反面、③「学んでいることが身に付いている。」という項目がB評価になった。学んだ直後の「分かった」という思いが、継続して持ち続けられなかったり、生活の中に生かすことまで実感できていないことが課題である。次年度に向けて、子どもたちの学びの実感を高める工夫をしていきたい。(①90%、②98%、③89%)</p> <p>○「先生は、自分のことを分かってくれている。」の項目がA評価ということで、教員と子どもの信頼関係が築けていることが分かる。(93%)</p> <p>※「分からないことは人に聞いたり、自分で調べたりして学習している」という項目については、自分で追究して学ぶという習慣が十分ではないことを子ども自身が実感している。どのように学習を進めていけばよいかを、子どもたちに丁寧に指導していく必要がある。</p> <p>※家庭学習に関しては、昨年度からも数値が減少傾向である。児童が取り組む課題の質・量について分かりやすく伝えていく必要がある。</p> <p>※「中学校での学習を楽しみにしているか」の項目については、毎年子どもが異なるので、単純比較は難しい。しかし、昨年度より数値は改善しているので、継続してきた小中一貫教育の効果が少しずつ現れ、中学校生活への期待がもてる子が増えてきていると思われる。</p>	○どの学年も落ち着いていて、学ぶ姿勢が身に付いているように感じられた。
		学んでいることが自分の力として身に付いているか。	B		○コロナ対策について、学校が考えて行っていることはなかなか伝わりにくいので、保護者や地域に発信していく工夫を考えて実施してほしい。
		家庭学習を必ず決めた時間に取り組んでいるか。	B		○コロナの中で子どもの学びの充実のために、ボランティア等できることがあればどんどん要望を伝えてほしい。できることは協力していきたい。
		授業で学習している内容が分かるか。	A		
		分からないことは人に聞いたり、自分で調べたりして学習しているか。	B		
		中学校での学習や生活を楽しみにしているか。	B		
		先生は、分かりやすく教えてくれているか。	A		
		先生は、自分のことを分かってくれているか。	A		
		先生や友達の話を目と耳と心で聴いているか。	A		
外国語活動の授業が楽しいか。	B				
心づくり	<p>○ 約束を守り、当たり前のことが丁寧にできる子どもを育てる。</p> <p>○ 温かい言葉の交流ができる子どもを育てる。</p>	相手の気持ちを考えた、温かな言葉づかいをしているか。	B	<p>○「私たちのクラスには、互いにルールを守り、協力しようとしているか」の項目が、3年継続してB評価となっている。しかし、昨年度とほぼ同様な数値(89%)となっているので、子どもたちの人間関係に大きな変化はない。しかし、人間関係づくりの苦手な児童も見られるので、注意深く見守り、丁寧な指導を心掛けたい。</p> <p>※「進んで気持ちよくあいさつをしているか。」の項目については、子どもの評価(85%)と保護者の評価(71%)と教員の評価(46%)に大きな差ができています。子どもと大人の感じ方に違いがあるので、よりよいあいさつについて考える場を設定するとともに、丁寧な指導を継続したい。</p> <p>※「温かな言葉遣い」については、結果に波があり、なかなかA評価が定着しない。日々の生活の中で、丁寧な指導を心掛けたい。</p> <p>※今年度は、縦割り活動や異学年交流が全くできなかったこともあり、かわることの良さを実感できなかったと思われる。</p>	○子どもと教員に人間関係ができており、やるべきことや大切なことを教員が体で示せている気がする。
		靴を整とんしたり、時刻を守ったりして生活しているか。	B		○子どもと教員だけでなく、教員同士の人間関係がよく、楽しく仕事をしていることが伝わってくる。そのことが学校全体をよい雰囲気に行っているのではないかと。
		私たちのクラスは、互いにルールを守り、協力しようとしているか。	B		○子どもたちのあいさつに関しては、十分できているとは言えない。しかし、地域の方との人間関係ができてくれば、自然とよくなっていくのではないかと。
		進んで気持ちよくあいさつをしているか。	B		
		他校の先生や友達と交流することのよさを感じているか。	B		
今住んでいる地域の歴史や自然に関心があるか。	B				
体づくり	<p>○ 安心できる空間づくりをする。(一人一人の心のケアを進める。)</p> <p>○ 基本的な生活習慣の確立と自分から行動する力を身に付ける。</p>	学校に相談できる人(先生や友達)がいるか。	A	<p>○「学校に相談できる人(先生や友達)がいるか。」という項目がA評価(92%)ということで、子どもたちが学校の中で居場所があり、安心して生活できていることが分かる。それでも、8%の子どもたちの思いに寄り添った指導を心掛けていきたい。</p> <p>※「早寝、早起きができ、必ず朝ご飯を食べている」の項目がB評価(87%)だが、家庭内のことについては、指導が難しい面がある。規則正しい生活の大切さを、今後も子ども、家庭に伝える指導を心掛けたい。</p>	○学校が楽しい場所になっていることがよい。安心して生活できていることが何よりである。
		早寝、早起きができ、必ず朝ご飯を食べているか。	B		○家庭での取組については、地域としても踏み込みにくいところなので、アンテナを高くして情報があれば学校に伝えていきたい。

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校評価アンケートの結果を通して、様々な視点から御意見をいただいた。子どもたちが安心して、楽しく生活できていることが一番良いということで、学校に子どもが安心して通えていることを理解していただいた。コロナ禍の学校においても、できることを確実に取り組み、子どもの目線に立って指導していることが伝わり、今後に向けての励みと自信につながった。全体的に昨年度に比べるとB評価が多くなったが、大きく落ちた項目はないことと、アンケートの結果はA評価であっても、その中に存在する満足していない少数意見の子どもたちの思いを真摯に受け止め、学校としての取組を振り返り、改善できるところはすぐに改善していく姿勢を忘れないようにしたい。来年度は新学習指導要領完全実施2年目ということもあり、今年度行ってきたことを一層工夫していくことが求められる。そのことを念頭に入れ、開かれた学校を目指すとともに、学校、地域、保護者が連携し、教育目標である「一心に学び、高め合う子」の育成の具現化に向けて職員一同尽力していきたい。